

任号 責五 無十

魚

海遊館からすべての魚が逃げ出しても
僕はこの廊下を笑いながら歩く
だってここは大阪だから
思い出をいくつも混ぜ合わせて
水槽の中に大海原を想像する

あの日天王寺の影に紛れていた
君の携帯ストラップは
どんな引出しにしまわれたのか
すっかり綺麗に墮落させられた通りを
フィッシュマンズ聴きながら駆ける

天地 せまくて
海風 けがれて
命が圧縮されても
沸き起こる怪しさが
ある限りは 限りは

日本橋で横道に誘われ
知らないねじに見とれている
そうかここは大阪だから
思いは全て加工されて
ねじくれた歴史に塗り込まれていく

清水らくは

もぐら

その日わたしは梅田に行った
イケブクロはやたら上昇するのだが人は
ここでは潜っていった

空間のことを考える、ガラスの伸縮とはなにか
ケイ素の働き、立体的方位に潜在化していく心、もぐら

もぐらとは地下潜行するジュースサーバーで出会った
なにかあまいのを俺と飲んだ

「本当にあまいものは地上にはない。
お前たちはそれを思い出しているにすぎないのだ。
わたしはお前たちのアルファである」

哲学するもぐら

喫茶店もあまく、駅もあまく、人々のかばんがおおきい
ただ地下にある本屋だけはセクシーだ
もぐら お前はどっか

ブティックも、旅行代理店も、保険屋も、靴の修理屋も潜った
かんとだきもオムライスもカレーライスも潜った もぐら

ゴザソウロウはあまい もぐら

「われわれは故郷を携行する、そして
トランクは地下へ潜行する」



浮島

無責任 十五号
責任者 清水らくは
副責任者 浮島
連絡先 rakuha@hotmail.com
発効日 2013年5月1日